

NG 靴はちゃんと揃えて脱ぎなさい!



OK 靴の形のシールを貼ったから、
このシールに合わせて
靴を置いたらスゴイよ。

聴覚（聞くこと）よりも視覚（見ること）に訴えかけたほうが、発達特性があるお子さんは脳にインプットしやすいという意味では、文章だけでなく、図表や絵などを使うのもよい方法です。

靴が揃えられないようなケースでは、市販の靴置きステッカーなどを玄関の床面に貼ると、お子さんは面白がってそこに合わせて靴を置くようになります。

また、洋服や下着、靴下などを、自分で用意できないお子さんには、どの引き出しに何が入っているかがひと目でわかるように、文字で書いた紙を貼ったり、写真を貼ったりするのもおすすめです。



NG 必要なもの、全部持った?



OK 忘れものがないように、必要なものは紙に書き出しておこうね。

忘れものが多いお子さんに、出がけに「忘れものはない?」「必要なもの、全部持った?」と聞いても仕方ありません。本人はそこに注力できないから忘れものをしてしまうのです。

前日の夜と一緒にランドセルに入れるものをチェックすることが大切ですが、このとき「忘れてはいけないもの」（持って行くもの）を紙に書き出しておく、「忘れもの問題」はかなり解決できます。「ノート」「筆箱」「給食袋」など、毎日必要なものに加え、「教科書」「副教材」はその日の時間割で使うものが入っているか、教科書類以外のリコーダーや習字道具、体操服なども忘れていないか、一つひとつ確認します。

毎晩こうした確認作業につき合うのは正直大変だと思いますが、小学校低学年のうちにこうした習慣を身につけておくと、その後の人生にも大きく役立ちます。